

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第055号(通算)

令和4年5月20日(金)発行

早いもので、5月も終盤になります。明日からは、テニスとなぎなたの県高校総体が始まります。3年生にとっては高校生活の部活動として、集大成を飾る大切な大会です。勝ち負けだけにこだわらず、悔いのない戦いを挑んで欲しいと願っています。戦う以上、一勝を目指す意気込みも大切です。大会後は、晴れやかな顔をしたみんなに会えることを祈念しています。頑張れ(顔晴れ)辺高生。

校長散策

清水熊ヶ岳(くまがたけ)の中腹(南九州市川辺町清水、川辺峠のそば茶屋吹上庵近くの山道を山の中に入っていきます)に「薩州三ヶ寺」(さつしゅうさんかじ)の一つとされる宝福寺がありました。



宝福寺(元寺)

宝福寺は「山ん寺」として知られた大きな寺院です。室町時代(1422年)に京都の南禅寺(臨済宗)で禅宗(坐禅によって悟りを開こうとする宗派の総称)を学んだ字堂(じどう)覚卍(かばん)和尚によって最初に開かれた寺を元寺と言います。その後、新たに建設された寺を今寺と言います。「薩摩高野(さつまごや)」とも呼ばれ、当時は、女性の入山は禁止されていたそうです。今寺は、『三国名勝図会』に絵図が掲載されていて、その絵図では「厨(くりや)」「(台所のこと)」が描かれている場所からは、江戸時代の陶磁器が数多く見つかるそうです。鹿児島は、明治初めの廃仏毀釈で他の多くの寺と同じく廃寺となりましたが、周辺が国有林となったため(近くに川辺高校の学校林もあります)開発が入らず、当時の石垣や石段、歴代住職のお墓などが残されているそうです。

宝福寺ではお茶が栽培されていたといい、その今寺跡には、その頃の名残と見られるチャノキが今でも自生しており、このチャノキは中国から渡ってきた原種の形質を保っていると言われています。しかしながら、宝福寺での茶の生産は記録が残っていないため、よくわからないことが多いそうです。



宝福寺(今寺)

(現在南九州市は茶の生産が盛んです。いろいろ調べてみると面白いかもしれませんね)



茶畑と田上岳(神殿IC近く)

教育実習生紹介

5月16日(月)~6月3日(金)の3週間

當房夢佳さん (教科:保健体育)

(国際武道大学体育学部)

月曜日から母校での実習に来られています。よろしくお願ひします。

学 年 朝 礼

令和4年5月9日(月)

3年生

當房先生による講話



公民としての資質

3年生は誕生日を迎えるごとに18歳=成人となっていく。選挙権も得、「公民」としての資質を高めていくことが求められる。

3日：憲法記念日。平和、民主主義、人権の尊重など高い理想を謳った憲法について、改正を求める声が高まりつつある。国民投票などにおいて、自分の意見をもって判断できるように考えていこう。

15日：沖縄本土復帰50周年。五・一五事件90周年。「公民」として、考える機会の多い5月。26日には生徒総会も開かれる。最上級生として生徒会活動や、学校づくりに参加することは、「公民」となっていく練習、学習でもある。

2年生

生徒によるSDGsについて発表

今回の講演者は、和田優希さん、和志武舞美さん、清水杏華さん、萩原蓮さんの4名でした。QUIZを取り入れ、軽いストレッチの紹介までありました。とても勉強になる立派な講演でした。内容は、日本のSDGsへの取り組み状況について考察し、その中でも、「ジェンダー平等を実現しよう」という項目に注目した発表でした。最近話題のLGBTQ+についても考察がなされていました。自分の事として考えることが大切だと思います。

みんなの前で発表することはとても大変ですが、彼女らにとって、貴重な体験だったと思います。次の発表は誰でしょう？楽しみです。



1年生

永長先生による講話



履修と修得 について

高校は中学校までと異なるシステムがある。来週から中間考査、高校は義務制ではありません。単位を履修し、修得していかなければ進級や卒業にも関わります。もし、欠点(赤点:基準点未満の点数)しか取れないと、学期末に学習特別指導の会を保護者同伴で受けなければならないことがあります。

先日の進路希望調査では、未定者が約3割にでした。あれもやりたい、これにも興味があるというように、“前向きな未定”はいいのですが、そうではなくて、行けるところでいい、とか、日頃あまり真剣に考えていない、というように、“受け身で、時間に流されるタイプの未定者”は、ここで考える必要があります。

突然 QUIZ(クイズ) 第二弾



QUIZの答えは、②番 **開聞岳**です。この「矢石」には、大昔、開聞岳(かいもんだけ)と田上岳(たのかみだけ)がけんかをし、田上岳が投げたススキが開聞岳の肩にあたりました。

怒った開聞岳が投げた大きな矢石は田上岳まで届かず、この辺りに落ちたという伝説があります。これは、火山の噴火の様子を指している？ とか両方の山が修験者(しゅげんじゃ)・山伏(やまぶし)の修行の場だったため、修験者同士の勢力争いの様子？ または修験者の神通力(じつうりき)の話ではないか？ 言われています。